

2028年3月卒業予定のキャリアタス就活・学生モニター（現大学3年生、修士1年生）を対象に、7月後半時点の就職意識や就活準備状況などを尋ねた。夏季インターンシップが本格的に始まる前であることから、情報収集や応募状況を中心に、今夏の過ごし方など幅広く調査した。

1. 就職活動の準備状況

- 友達と就活の話を「よくする」という学生が過半数（55.4%）
- 就活準備で行ったことは「自己分析」「業界研究」「企業研究」など。多くの項目で前年より増加

2. インターンシップ等（※）の情報収集

- 情報収集開始は「3年生の4月」に集中（41.3%）。1～2年次に開始した学生は28.8%
- 情報の入手先は「就職情報サイト」が8割超で最多。「企業ホームページ」が続く
- 応募前に確認するのは「事業内容」「入社後の待遇」「年間休日・ワークライフバランス」の順

3. インターンシップ等の応募状況

- 「1日以内のプログラム」は9割近くが応募、平均応募社数は7.8社
- 「2～4日間」は約7割、「5日間程度」は約6割で、平均応募社数はそれぞれ5.8社、4.1社

4. インターンシップ等の事前選考

- 事前選考でESを提出したのは78.7%、筆記試験69.0%、面接50.8%
- 事前選考の対策で大変なのは「時間がかかる（学業との兼ね合い含む）」が最多（75.5%）

5. 今後のインターンシップ等の参加予定

- 「1日以内のプログラム」は約9割が参加意向を示す。複数日程を希望する学生も多い
- 参加希望時期は文理とも「8月」「9月」が多いが、秋以降の参加を予定する学生も少なくない

6. 就活準備イベントへの参加

- 会場型への参加が前年より約10ポイント増加（67.4%→77.2%）。オンライン形式は84.2%
- 参加時期は両形式とも「5月」が最多、次いで「6月」。全体の7割以上が今後も参加を予定

7. 夏休みの過ごし方

- 文理とも「インターンシップ等への参加」が8割を超え最も多い
- 文系は「旅行」「就活準備」が理系に比べ高く、理系は「研究活動・学業」が高い

※「インターンシップ」に限定せず、オープン・カンパニー等も含めて尋ねた

調査概要

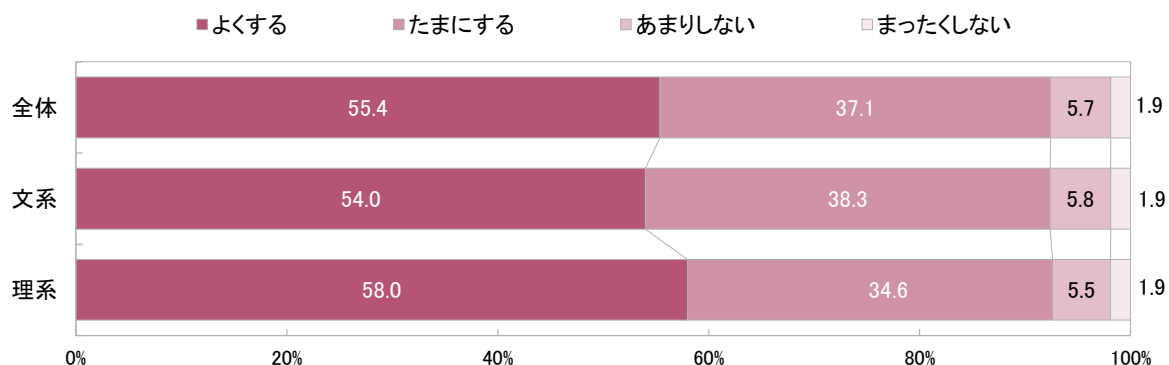
調査対象：2028年3月に卒業予定の大学3年生（理系は大学院修士課程1年生含む）
回答者数：1,062人（文系男子155人、文系女子488人、理系男子219人、理系女子200人）
調査方法：インターネット調査法
調査期間：2026年7月16日～24日
サンプリング：キャリアタス就活 学生モニター2028
調査実施：株式会社キャリアタス／キャリアタスリサーチ

1. 就職活動の準備状況

7月下旬の調査時点で、就職活動について話す頻度を尋ねた。友達と就活の話を「よくする」という回答が過半数を占め（55.4%）、頻繁に話題に上ったり、情報交換がなされたりしている様子がうかがえる。友人との会話きっかけに準備を始めるケースもあるだろう。「たまにする」（37.1%）を合わせると9割を超える（計92.5%）。

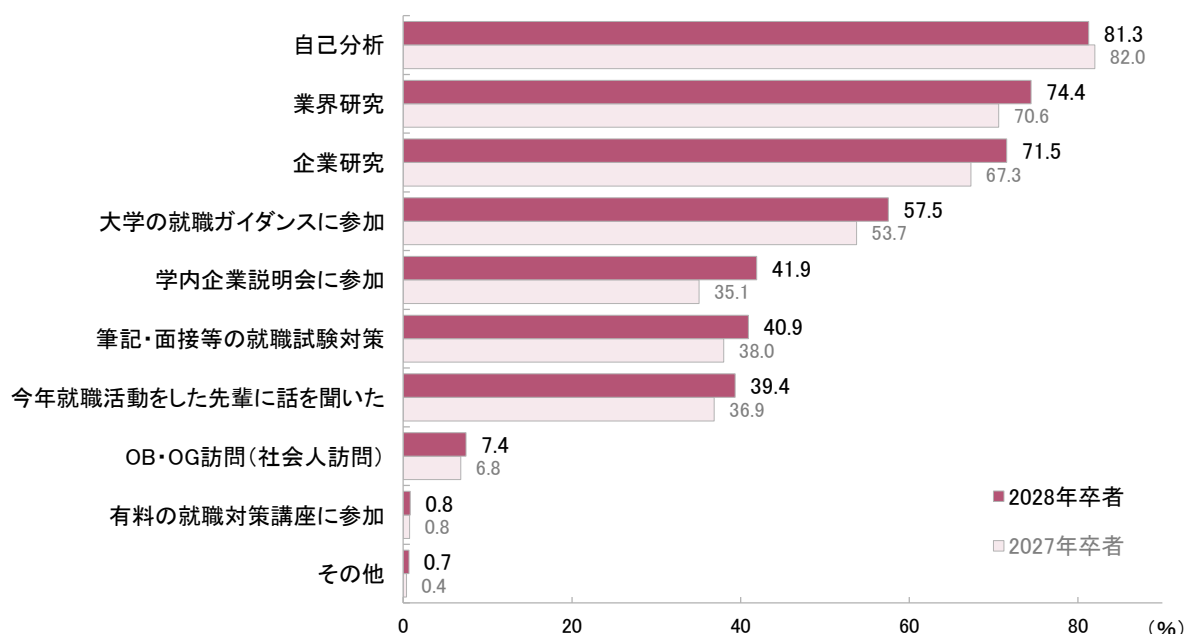
文理による大きな差は見られず、文系・理系ともに9割以上が友達と就活の話をすると回答した。

<友達と就活の話をする頻度>



また、就職活動の準備として行ったことを尋ねたところ、最も多いのは「自己分析」で81.3%。次に「業界研究」（74.4%）、「企業研究」（71.5%）が7割台で続き、就職活動に向けた準備に着手している学生が多数に上っている。前年同期調査と比較すると、多くの項目でポイントが増加しており、前年の学生より早いペースで準備を進めている様子が見て取れる。「筆記・面接等の就職試験対策」は4割超が回答（40.9%）。インターンシップの事前選考に通過するための対策に取り組んだという学生も少ないのだろう。（事前選考に関するデータは5ページに掲載）

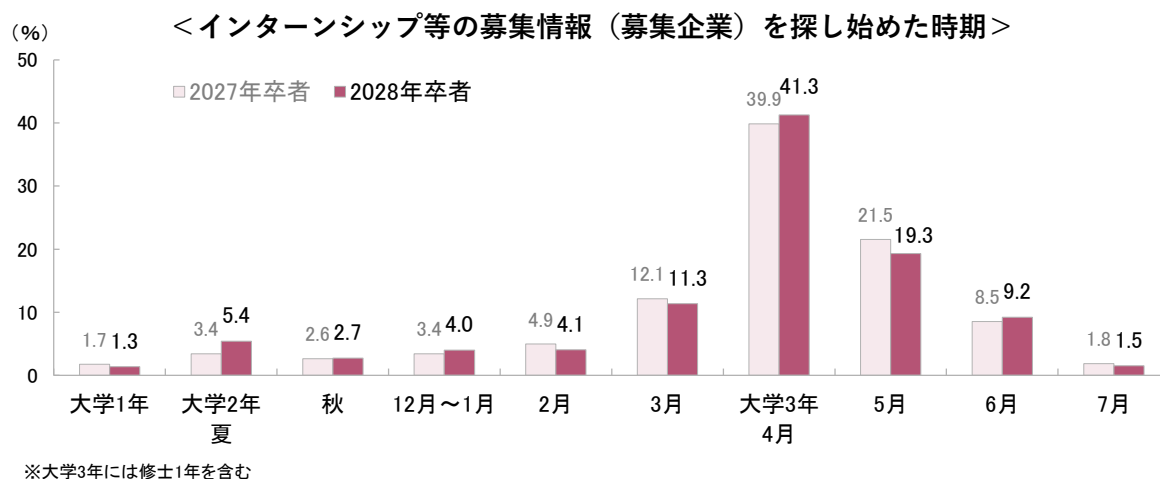
<就職活動準備でこれまでにやったこと>



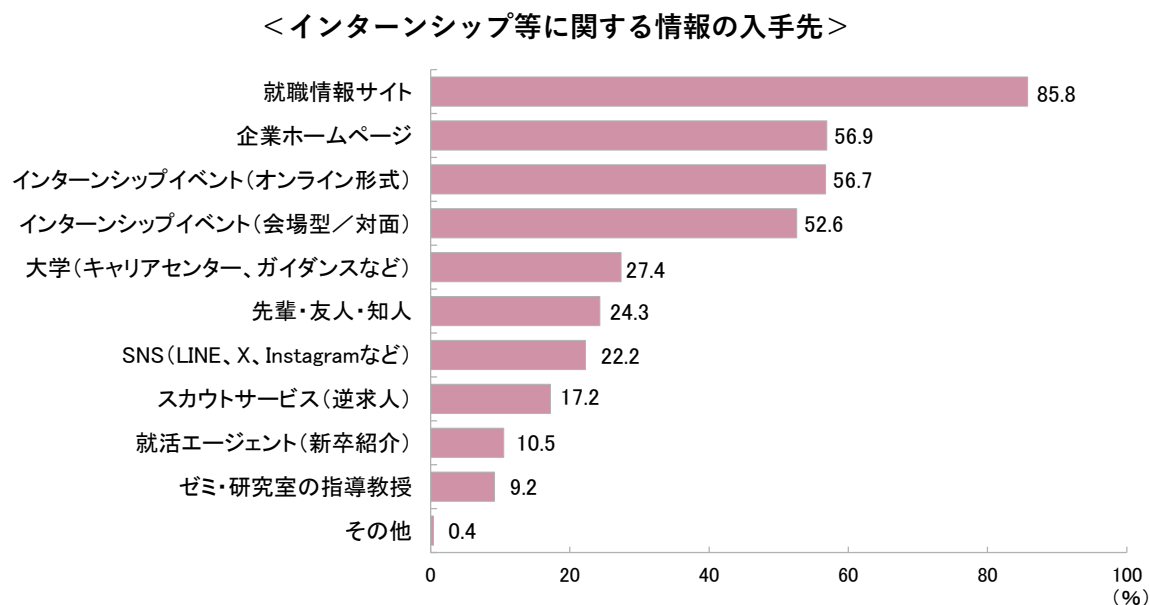
2. インターンシップ等の情報収集

ここからは、インターンシップやオープン・カンパニー（以下、インターンシップ等）に関するデータを確認したい。

まず、インターンシップ等の募集情報（募集企業）を具体的に探し始めた時期を尋ねた。今年も「大学3年生の4月」が最も多く、全体の4割を超える（41.3%）。進級と同時に情報収集を開始する動きが定着しているようだ。一方で、2年生の3月までに開始した人の合計は3割近くに上り（計28.8%）、早い時期から情報収集を開始する学生も見られる。

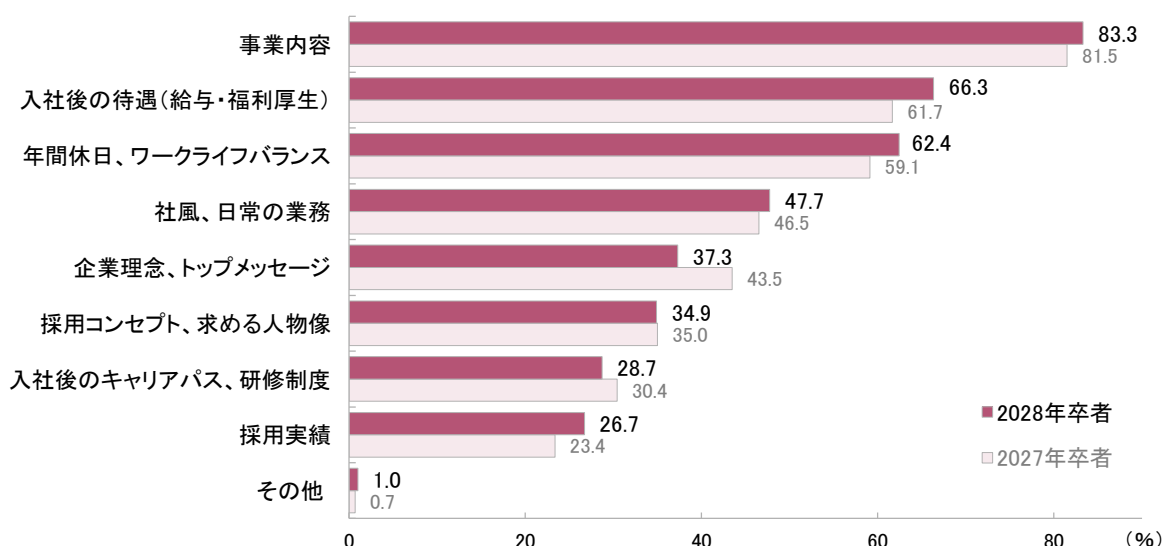


インターンシップ等に関する情報をどこから入手しているのかを尋ねたところ、最も多いのは「就職情報サイト」で、8割以上が選んだ（85.8%）。2番目は「企業ホームページ」（56.9%）で、「インターンシップイベント」はオンライン・会場型ともに5割台（56.7%、52.6%）。ここまで過半数が選んでおり、多くの学生が利用していることがわかる。その他「大学（キャリアセンター、ガイダンス）」「先輩・友人・知人」「SNS」が2割を超えるなど、インターンシップ等に関する情報源が多岐にわたっている様子がうかがえる。



応募する前に、プログラムの概要（日程、場所など）以外の、その企業のどんな情報を確認するのかを尋ねた。最も多いのは「事業内容」で 83.3%。どのような事業を行っているかは最低限把握しておきたい、と考える学生が大半だ。次いで「入社後の待遇（給与・福利厚生）」、「年間休日・ワークライフバランス」が 6 割台で続く。それぞれ前年調査よりポイントが増加した。就職後の働き方に関する情報を確認した上で、インターンシップ等に応募するかどうかを判断する学生が増えているようだ。

< 応募する前に確認する企業情報 >

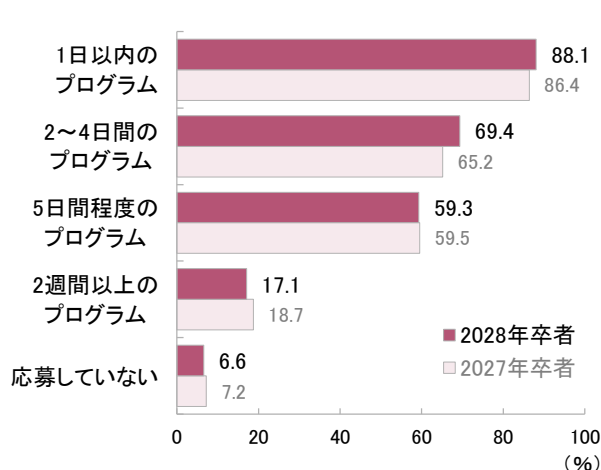


3. インターンシップ等の応募状況

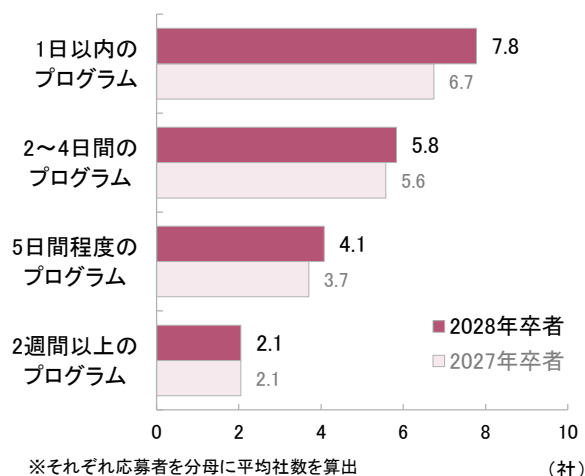
調査時点での応募状況について見てみる。「1日以内のプログラム」への応募経験がある学生は8割台後半に上る(88.1%)。「2～4日間のプログラム」が約7割(69.4%)、「5日間程度」も半数を超えており(59.3%)、複数日程のプログラムに対しても関心が高い様子がわかる。

応募社数の平均は「1日以内のプログラム」が7.8社で、前年調査より約1社多い。「2～4日間」「5日間程度」もわずかではあるが前年実績より増加した。前年の学生よりも意欲的に動いていると言えそう。

< インターンシップ等の応募状況 >



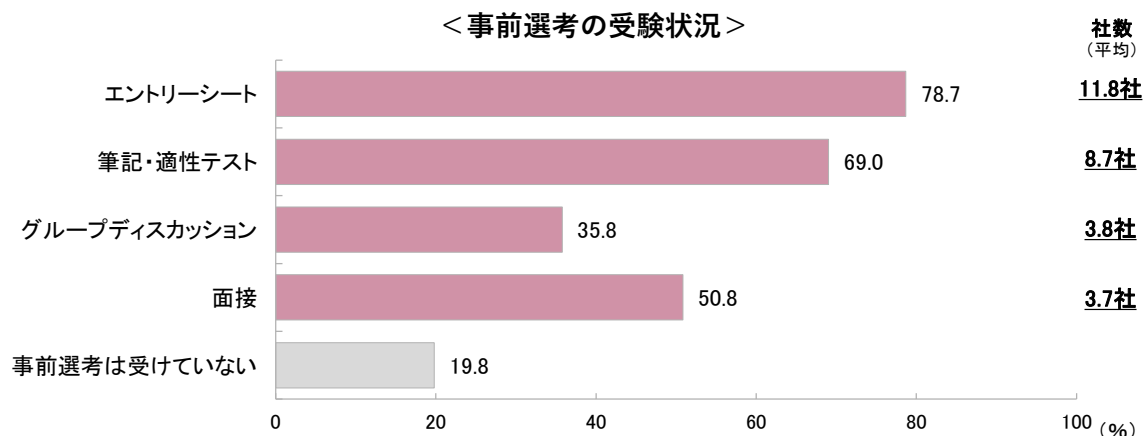
< 応募社数/平均 >



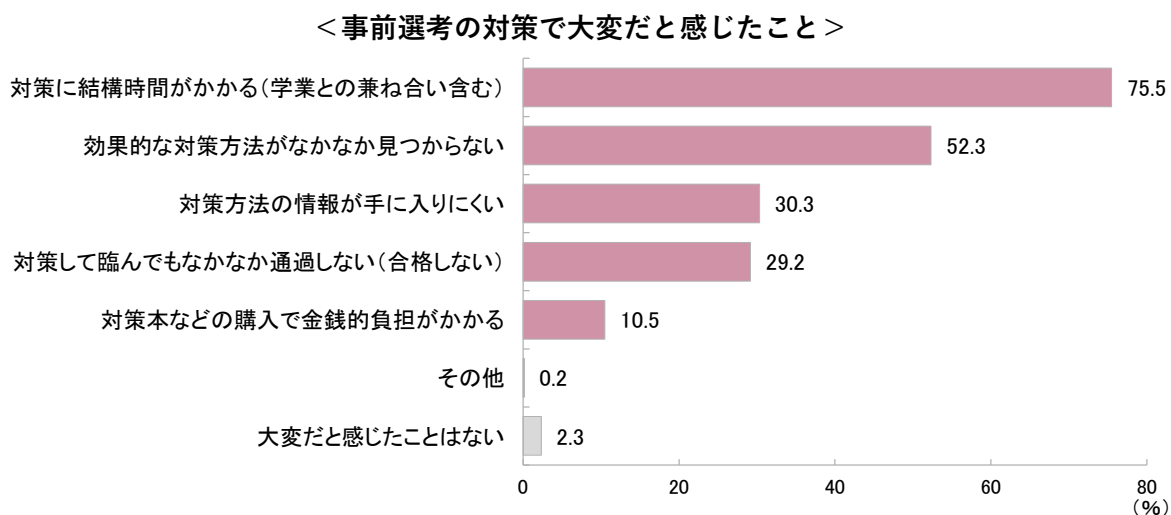
4. インターンシップ等の事前選考

インターンシップ等への応募経験がある学生に、事前選考の経験率を尋ねた。

最も高いのは「エントリーシート（以下 ES）」で 78.7%。提出社数の平均は 11.8 社。「筆記・適性テスト」は 7 割近く経験し（69.0%）、社数の平均は 8.7 社。プログラムへの参加にあたっては、ES や各種テストの受験を課されるケースが多いことがわかる。一方「グループディスカッション」「面接」は、比較すると経験率・社数ともに低い。実施しない企業が一定数あることに加え、ES 等で落選してしまった人や、これから面接に臨む人もいとみられる。



事前選考に向けた対策で大変だと感じたことを尋ねた。最も多いのは「対策に時間がかかる」で 7 割を超える（75.5%）。「効果的な対策方法がなかなか見つからない」（52.3%）、「対策方法の情報が手に入りにくい」（30.3%）と続き、ES の書き方や自己分析、企業研究など、初めてのことに戸惑いながら準備を進める学生も少なくないようだ。

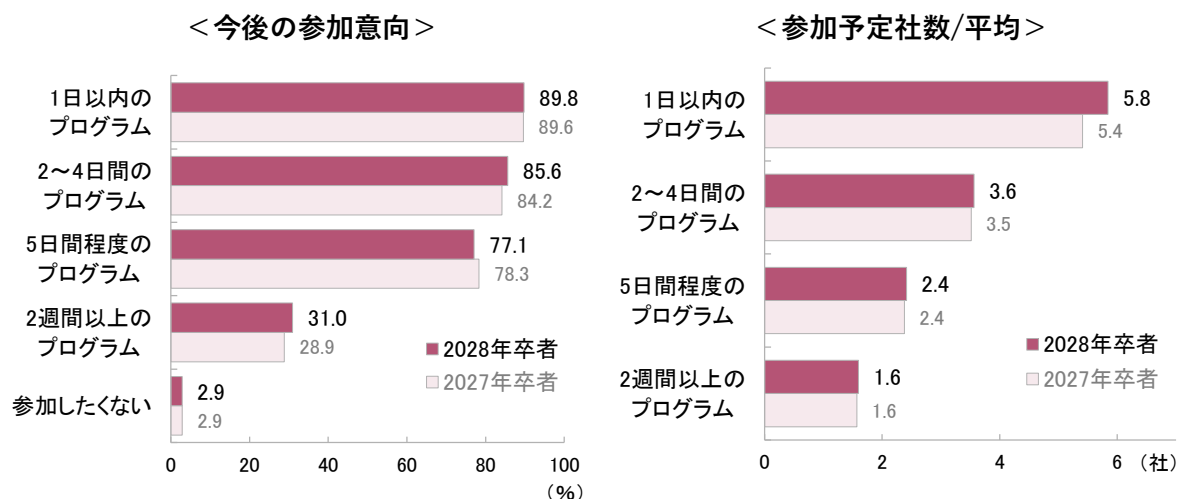


■事前選考対策で大変なこと

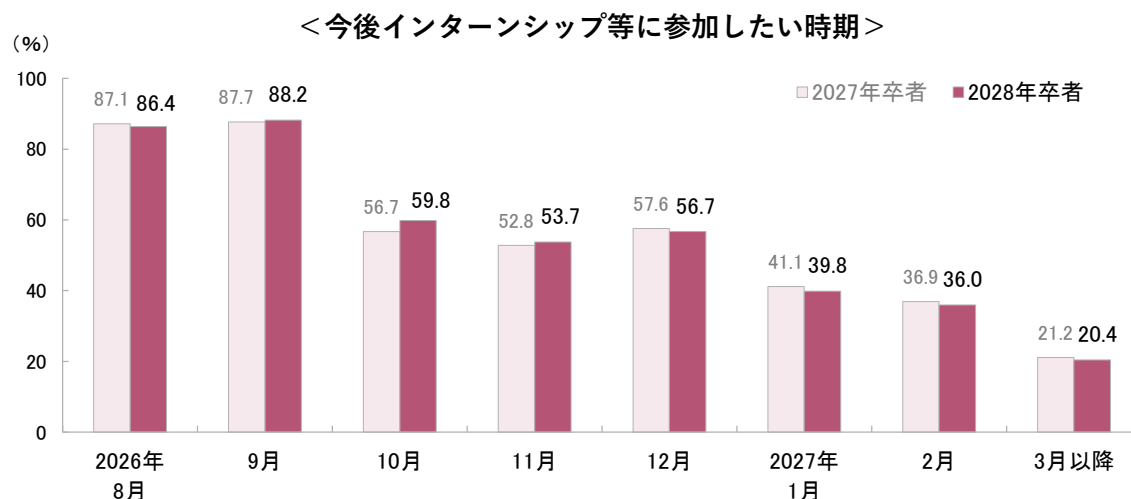
- 学業との両立が難しく、選考対策の時間がなかなか取れないことがありました。 <理系男子>
- ES を手探りで書いているため、これで良いのかわからない。学業などとの兼ね合いで、振り返る時間もなくなってしまふ。 <理系女子>
- 大学のキャリアセンターで ES の添削をしてもらっているが、なかなか通らない。プレゼンなら通る自信あるけど、文章だけじゃ伝わらない。 <文系女子>
- AI 面接が通らない理由が分からない。人じゃないからどこが反応が悪いのか対策しづらい。 <文系男子>

5. 今後のインターンシップ等の参加予定

すでに参加が決まっているものも含め、今後の参加意向を日数別に尋ねた。「1 日以内のプログラム」（89.8%）、「2～4 日間のプログラム」（85.6%）がそれぞれ 8 割台後半と大半の学生が選んだ。「5 日間程度のプログラム」は 77.1%で、日数を問わず参加意向が非常に高い。夏季休暇中の参加に意欲的な学生が多いことがうかがえる。「参加したくない」と回答した学生はわずか 2.9%。



参加したいと考えている時期をしてみる。「8 月」「9 月」が圧倒的に多く 9 割近くが選んだ。10 月から 12 月にかけても、過半数の学生が選んでおり、早くも秋以降の参加を考えている学生も一定数おり、今後、さらに参加意向は高まっていくとみられる。



■インターンシップ等に参加したい理由

- 業界をまだしっかりと理解できておらず、自分に何が合うのかまだ分かっていないため、しっかり業界研究を行いたいです。 <理系女子>
- 実務に近い体験を通して業界への理解を深めたいと考えています。 <文系女子>
- 研究者のキャリアパス（企業内、アカデミア関係なく）を主に知りたい。また、自分の研究テーマに関連性があり、入社後に活躍できそうな分野について知りたい。 <理系男子>
- レベルの高い仲間や社員とインターンシップでワークをすることで、就活、そして社会に出て働く上での意識を高めたい。 <文系男子>
- 企業の福利厚生や、社員の声などより詳しい情報を得たい。 <文系女子>

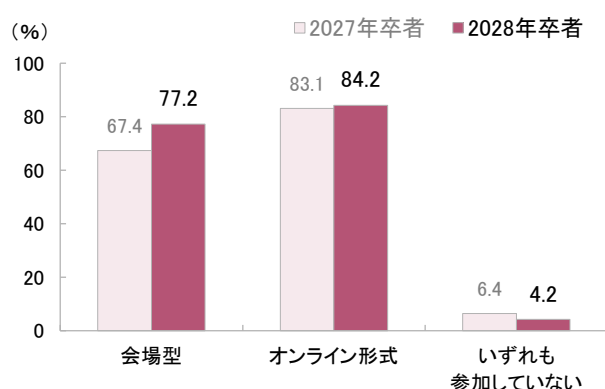
6. 就活準備イベントへの参加

就職情報会社等が主催する就活準備イベント（インターン・キャリアイベントなど）への参加状況を、開催形式ごとに確認した。オンライン形式に参加経験がある学生が8割強（84.2%）で、会場型より多いが、会場型は前年調査より10ポイント近く増えているのが目立つ（67.4%→77.2%）。一人あたりの平均参加回数は両形式とも前年同期実績を上回り、積極的に参加している様子が表れている。

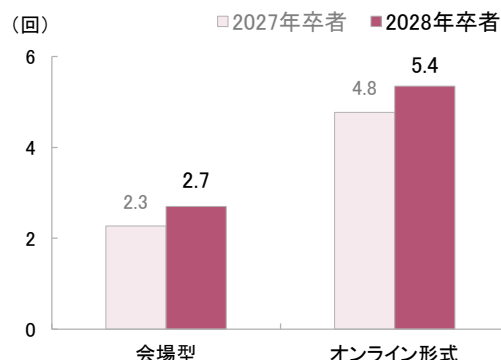
参加時期は両形式とも「5月」が最も多く、次いで「6月」。オンライン形式は前年と変化はないが、会場型は5月まで前年実績を上回っており、参加のタイミングが早まった様子も見て取れる。

今後については、両形式ともに7割以上が参加の意向を示している。「どちらも参加したくない」は1割台（15.3%）。

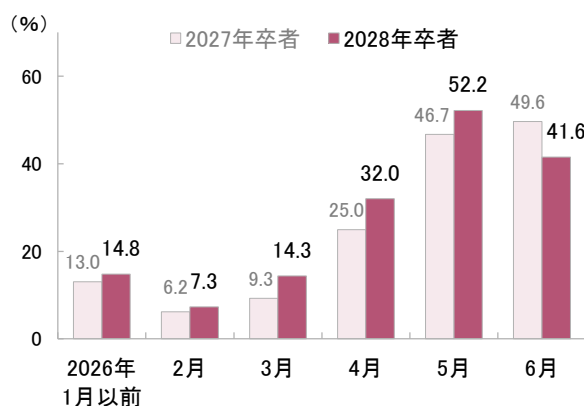
<就活準備イベント 参加・視聴経験>



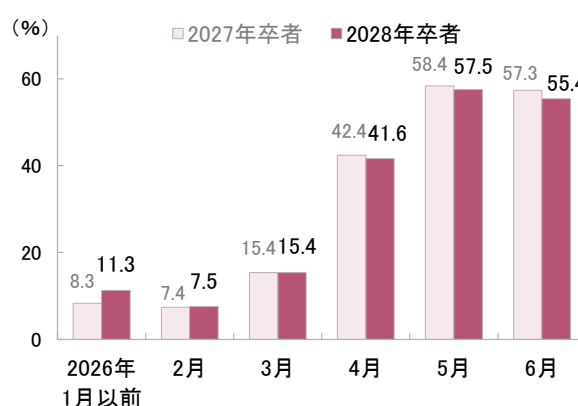
<就活準備イベント 参加・視聴回数>



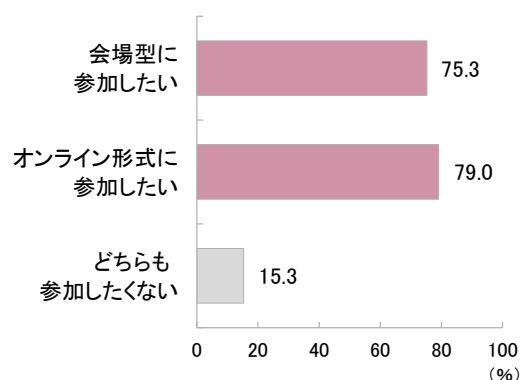
<参加時期（会場型）>



<参加時期（オンライン形式）>



<今後の参加意向>



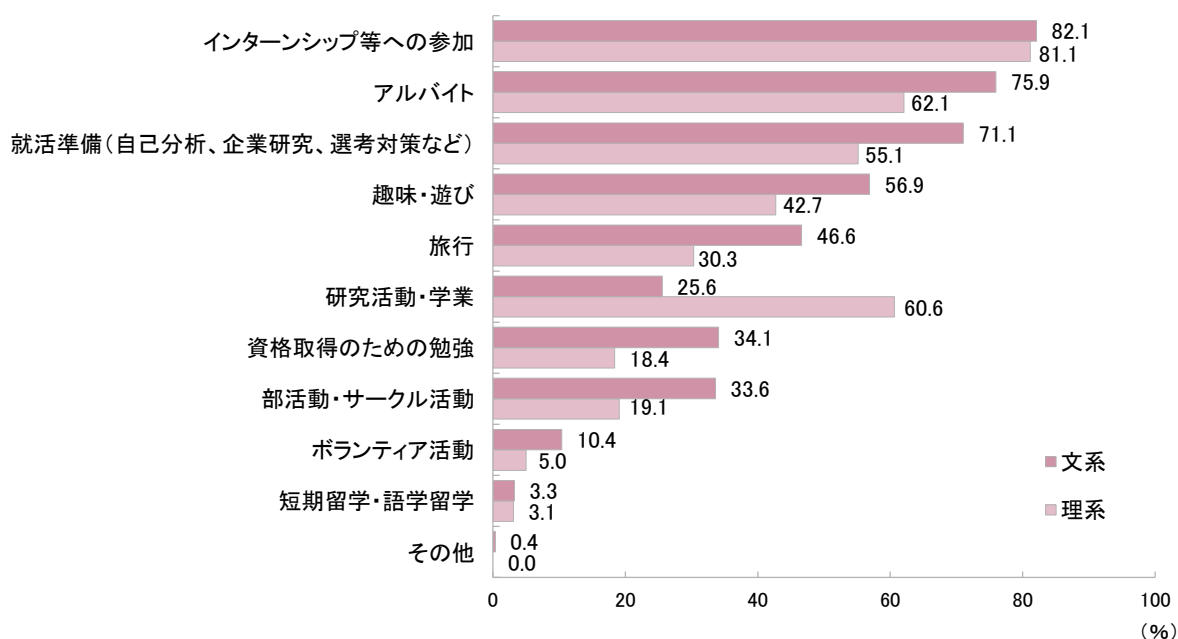
■就活準備イベントに参加してよかった点

- たくさんの企業を見られたこと。就職活動に対する他の学生のやる気を感じられたこと。 <理系男子>
- まったく考えていなかった業界にも触れる機会があった。 <文系男子>
- アプリだと自分の主観で絞り込んでしまうので、関心度に関わらず色々な企業をフィルターなしで見られた点。 <文系女子>
- 人事の人と直接話すことができた。 <文系男子>
- どんな職種に就きたいかが定まっていなかったが、大まかではあるが自分の希望進路が見つかった。 <文系女子>
- 就活に対するモチベーションが上がった。 <理系女子>

7. 夏休みの過ごし方

今年の夏休みをどのように過ごす予定かを尋ねた。文理とも最も多いのは「インターンシップ等への参加」で、それぞれ8割以上が選んだ。2位以下は文理で差が見られ、文系は全体的にポイントが高く、様々な活動を予定していることがわかる。特に「旅行」「就活準備」が理系に比べ高い。反対に理系学生の方が高いのは「研究活動・学業」で、2倍以上の差が見られる（文系25.6%、理系60.6%）。

<今年の夏休みの過ごし方（予定）>



■この夏に具体的にやりたいこと

- インターンシップへの参加とゼミ合宿への参加。 <文系女子>
- まずは部活動に全力で取り組みたい。何かに全力を注いで成果を出す経験が、今後の就活においても重要な要素になることを理解しているからだ。部活動以外の時間も全力で楽しみながら就活を進めたい。 <文系男子>
- 学会に向けた準備、インターンシップを通じての企業研究。 <理系女子>
- ホテル業界に行きたいからいろんなホテルに泊まってみたい。 <文系女子>
- ガクチカが薄いので、改めて作り直したいのと、恐らく自己分析が全然できていないことがインターンシップ選考に落ちている原因だと考えているため、改めて自分を見つめ直したい。 <文系男子>
- 夏休み中に研究活動のある程度進めておき、秋以降に就活に注力したり、サークル活動に復帰したりしようかと考えている。 <理系男子>
- アルバイトをしながらボランティアを頑張りたい。 <文系女子>
- 自分が潰れてしまわないように、遊びや趣味を入れながら、就活対策を進めたい。 <理系男子>

■就職活動に関して、今知りたいことや欲しい情報

- 企業がどのような人材を求めているか（特にあると嬉しいと思うスキル）について知りたい。 <理系女子>
- 各業界・業種・職種の特徴や、適性がある人についての情報が知りたい。 <文系女子>
- 事業内容から、自分に合う中小企業の探し方。 <文系男子>
- あまり知名度はなくても福利厚生が充実していて働きやすい企業などの探し方を教えて欲しい。 <理系女子>
- 各会社の入社1年目にメインで行う業務内容。 <理系男子>
- 興味のある企業や業界が見えてから、改めて見つめ直すにあたっての自己分析方法。 <文系女子>
- インターンシップに受からなくても夏休みを有効に使う秘訣が知りたい。 <文系女子>
- AI時代の面接で評価されるポイントと練習方法について知りたい。 <文系男子>